

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 『せと未来マップ』をどう描く？第7次総合計画に向けた本市の現状の確認と方向性について</p> <p>【質問趣旨】 10年前、本市では2025年問題に加え老朽化する公共施設への対応など、財政需要の増加が避けられない要件となると懸念されていた。この問題に対して、本市は8年前の平成28年(2016年)に「まち・ひと・しごと総合戦略」、そして、平成29年(2017年)に「第6次瀬戸市総合計画(6次総)」が策定され、これをもとにした様々な計画や施策が実施されてきた。</p> <p>6次総は将来像「住みたいまち、誇れるまち、新しいせと」を実現するために、 (次ページへ続く)</p>	<p>(1) 6次総のこれまでの効果と検証について</p>	<p>①本市の人口推移は、6次総開始時の平成29年4月の130,298人から令和6年4月に126,903人と緩やかな減少となっている。瀬戸市人口ビジョンにおける将来人口推計に対する動向は、推計値を下回る結果となっている。これらの結果についての見解を伺う。</p> <p>②本市における社会増減数の推移は令和5年4月までは社会増とのことであったが、令和6年4月の結果を伺う。</p> <p>③本市の5歳階級別社会増減数の比較では、令和3年と令和4年を比較して、令和4年は20歳代の社会減が増加し、30歳代の社会増は減少している。この結果についての見解を伺う。</p> <p>④本市の国籍別の社会増減数をみると、日本国籍の社会増減数は大幅に社会減へ転じている。一方、外国籍の社会増減数はコロナ禍で一時的に減少したものの増加傾向にあり、外国籍の人の転入目的と、どの連区で増加傾向か伺う。</p> <p>⑤小項目④の件について、日本国籍の人が社会減している結果が今後与える影響について見解を伺う。</p> <p>⑥6次総のP19に瀬戸市内の20歳代・30歳代を対象とした、子育て世代のニーズアンケート結果として、「居住における重要度と満足度」が示されている。重要度が高くても満足度の低かった「交通の利便性向上や通学路の安全確保、保育・医療の充実」は瀬戸市が子育て世代に居住地として選択されるようにしていく上で取り組むべき分野とされていたが、7年間取り組んできた結果を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>3つの都市像を掲げ、達成のための基本構想として、財政基盤の確保と持続的な施策展開を行っていくとした。最も重要視されたのは根幹にある人口減少への課題と対策であった。社会増を獲得するために、『瀬戸市人口ビジョン』による将来人口を目標値として示した。目標達成のためには、現状の人口の維持（住み続けたいと思ってもらふこと）と、人口流入の増加（住みたいと思ってもらふこと）が必要であり、そのためにソフトとハードが融合するまちの発展を目指すと表現されていた。しかし、計画当時は最適解だとしても、社会情勢・災害や地球環境の変化等により、想定外の事態となることは多分にある。</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(2) 新瀬戸駅・瀬戸市駅を中心拠点とした中央地域のまちづくりについて</p>	<p>⑦小項目⑥のニーズに対しての結果を考察するうえで参考となる、令和4年度の『決算に係る主要な施策の成果に関する報告書』には、都市像②「子育て支援の満足度、家族の暮らしやすさ実感度、若い世代の居住満足度、教育への満足度、地域の子育て教育環境満足度」と6次総開始当初よりも数値は上がっているものの、目標としている基準値に達していない状況であった。この件に関しての見解を伺う。</p> <p>⑧本市の連区別人口を平成29年と令和6年を比較し連区別で総人口・年少人口・生産年齢人口が増えた地域はどこで、どのくらい増えたか伺う。</p> <p>⑨瀬戸市人口ビジョンによる10年後の2035年の人口の推定値は何人と予測し、これから第7次総合計画を考えていくにあたりその数値をどのように考えているか見解を伺う。</p> <p>⑩本市において6次総と並んで重要視されている『名古屋都市計画区域マスタープラン』の計画の中で、新瀬戸駅・瀬戸市駅の周辺は都市活動を支える都市拠点として位置づけられている。下位計画の『瀬戸市都市計画マスタープラン(都市マス)』や『瀬戸市立地適正化計画(立適)』では中心拠点として、新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺が設定されている。この場所が本市の都市マス・立適において、6次総の効果を出せる最も重要な拠点という認識で間違いがないか確認する。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>そこで、残り約3年となった6次総のこれまでの取り組みの成果の確認と、進捗状況の確認を行う。ただし、人口増加に効果があると言われる方策は多岐にわたるため、今回は本市の駅周辺環境（新瀬戸駅・瀬戸市駅、瀬戸口駅・山口駅）に焦点を絞り、そこから第7次総合計画策定に向けた、本市の将来像を伺う。</p>		<p>②名鉄新瀬戸駅の乗降者数は平成29年度が2,021,430人、令和4年度が1,734,355人であった。愛知環状鉄道瀬戸市駅の乗降者数は平成29年度が2,313,700人、令和4年度が2,121,870人であった。この結果について見解を伺う。</p> <p>③新瀬戸駅・瀬戸市駅の周辺地域の人口は緩やかに減少している。この7年間で公立陶生病院の建て替え完了や陣屋線の整備等の都市機能の整備は行われていると思われるが、その他で新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺について取り組まれたことを伺う。</p> <p>④立適の第7章・居住誘導区域等の設定において「新瀬戸駅・瀬戸市駅の駅前広場は、多様な交通手段が円滑かつ安全に利用できる交置空間の拡充を図るとともに、効率的な土地利用を検討し、駅前空間の再整備を推進します。」と整備方針が記載されているが、具体的に人口を増やす手段をどう検討しているか伺う。</p> <p>⑤尾張旭市では三郷駅前地区第一種市街地再開発事業として、商業施設、公共公益施設、都市型住宅などの複合開発を行うことで、地域交流と滞留空間の創出を計画している。1～4階が駐車場・駐輪場と商業・公共施設、5～23階が住宅の計画である。この事業による名鉄瀬戸線沿線上の本市への影響について見解を伺う。</p> <p>⑥東京都青梅市では社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)を活用し、駅前に商業施設・公共施設(図書館)と住居一体型施設を建設し、利便性の高い人口増も見込んだ整備を行うとのことである。『瀬戸市公共施設等総合管理計画(FM)』と『瀬戸市遊休地活用基本方針』によれば、「遊休資産の積極的な活用を重点的な取り組みの一つとし、市有資産の有効活用を実現する」としている。立適に基づくコンパクトなまちづくりを推進すると思われるが、本市の駅前開発に関する官民連携を含んだ計画策定の必要性について見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 瀬戸口駅を地域拠点とした幡山地域のまちづくりについて	<p>①瀬戸口駅は本市の南の地域拠点として都市機能誘導区域に設定されている。瀬戸口駅の特徴と課題を伺う。</p> <p>②6次総期間中の瀬戸口駅の乗降者数は平成29年度が1,491,019人でピークであり、令和4年度が1,378,882人で瀬戸市内の愛知環状鉄道の乗降者数では2位という結果であった。この結果について見解を伺います。</p> <p>③瀬戸口駅の周辺地域の人口は緩やかに減少している。この7年間で瀬戸口駅周辺の整備に取り組みられたことを伺う。</p> <p>④瀬戸口駅は立適の第7章居住誘導区域等の設定において、「子育て世代や高齢者、障害者等の移動の円滑化を促進するため、効率的な土地利用を検討し、駅前空間の再整備を推進するとともにバリアフリー化などによる交通結節点の機能強化、充実を図ります。」と整備方針が記載され、バリアフリー化が大きな課題と認識されているが整備予定を伺う。</p> <p>⑤瀬戸口駅西の光陵第2グラウンドと瀬戸市埋蔵文化財センターのある土地は第一種中高層住居地域となっているが、この土地は本来どのような目的で取得していた土地か伺う。</p> <p>⑥小項目⑤の土地は瀬戸市埋蔵文化財センターでの利用ではなく、居住誘導を促したほうが有効な活用ができると考えられるが、見解を伺う。</p> <p>⑦文化財保護は法令で定められているため、歴史があるまちでは増え続ける埋蔵文化財の管理と保管が大きな問題となっている。本市における文化財関係保管施設と運営に関わる令和6年度の予算額を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑧本市を含め、多くのまちで出土品は展示、公開、学校教育、学術研究資料等への利用がされているが、発掘・保管作業を行っていることを知らない市民が多いことも指摘されている。情報提供可能な体制整備ができていないことは文化庁も指摘している。歴史や文化があることは、見せ方によっては価値となる。観光利用による金銭的な価値だけではなく、まちの歴史を知ることは、定住率を上昇させるシビックプライドの醸成という価値も創出する。時代に合った活用方法の検討をされているか伺う。</p> <p>⑨令和5年9月11日の予算決算委員会都市活力分科会において「埋蔵文化財センターは老朽化のため旧山繁商店に移転し、体験、展示、学びを生かした機能を付加し、本市ならではの歴史的特性を生かした活用を図っていく」との事だったがその後の進捗を伺う。</p> <p>⑩旧山繁商店の取得並びに保全にこれまで投じた予算を改めて伺う。</p> <p>⑪地域の特色ある埋蔵文化財の総合的な公開活用を推進するために、文化庁から『地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助』がある。埋蔵文化財センターの整備・工事だけでなく、普及・啓発も対象となり、補助対象経費の50%が補助される。また、旧小学校の跡地を埋蔵文化財センターとして活用している自治体も多く、安城市・美濃市など近隣市でも実施されている。遊休資産・市有資産の積極的な活用として、これらの視点も必要と考えられるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 山口駅を地域拠点とした幡山地域のまちづくりについて	<p>⑩瀬戸口駅北側には改札口がなく、急な階段を利用しないといけないため、非常に不便で移動時間がかかる。障がい者や高齢者にとってはさらに不便な構造となっている。立適の都市機能誘導区域の設定によれば、瀬戸口駅北側は近隣商業地域であり、南側は商業地域である。乗降者数と人口を増やすには駅の利便性向上は必要と考える。また、周辺の人口推移や居住誘導の方針からも、北側のロータリーの場所は市有資産として有効活用されることが求められる。中項目(2)と同様に本市の瀬戸口駅前開発に関する官民連携を含んだ計画策定の必要性について見解を伺う。</p> <p>①6次総期間中の山口駅の乗降者数は平成29年度が653,823人、令和元年度の719,689人をピークに令和4年度が671,489人であった。過去には80万人近い乗降者数があったことから利用客の減少が見て取れる。この結果について見解を伺う。</p> <p>②山口連区は、人口は増加しているものの、通勤・通学以外の鉄道利用者数が少ない現状である。山口駅周辺の特徴と人口増加の要因・課題を伺う。</p> <p>③都市マス・立適において地域拠点とされる山口駅周辺地域は都市機能誘導区域に設定されていないが、居住誘導区域として設定され人口は増加している。立適の第2章都市施設等の集積状況では地域拠点とされる駅の中でも都市施設が少ないことがわかる。立適第3章将来の見通しでは、2045年の人口密度は80人/haと高く、高齢化率の推移は40%以下と他の地域より低い。しかし、その後の誘導施策のページには山口駅周辺への取り組みは一切記載がない。今後の山口駅周辺の将来土地利用構想は立適第5章のP5-5の図の通りか伺う。</p>

(6ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 菱野団地を地域拠点とした幡山地域のまちづくりについて	<p>④立適の第8章の誘導施策に「鉄道業者と連携して、現行サービスの維持確保と、名古屋駅への利便性を確保するため、愛知環状鉄道のJR中央本線へ直接乗り入れる便の維持・増加について検討を進める。」としている。実現に向けて、中心拠点や地域拠点の人口増加は必須の課題と考えられるが、見解を伺う。</p> <p>①菱野団地は立適の第2章都市施設等の集積状況において、「瀬戸口駅から菱野団地周辺にかけて利便性が高い状況」と記載されている。しかし、菱野団地は完成から50年が経過し瀬戸市内でも高齢化率が41.1～46.6%とかなり高い状況である。そして、平成29年と令和6年の人口を比較すると-1,992人と人口減少も著しい。団地は1万人以上が住む地域であり、この地区が空洞化すると立適第3章将来の見通しは崩れ、周辺施設や駅にも大きな影響を及ぼすこととなる。本市では菱野団地再生計画を作成し、計画期間の半分の5年が経過したが、現在の進捗状況と課題を伺う。</p> <p>②菱野団地の総人口は令和10年に12,834人を目標値としているが、令和5年度に10,523人、40歳未満人口の割合は33.5%以上を目標値としているが、令和5年度に25.6%と、どちらも目標値と大幅に乖離している。この状況について見解を伺う。</p> <p>③予想より早い高齢化・人口減少により地域活動が成り立たなくなることが懸念される。残り5年の計画期間をかけてどのように再生していく予定か伺う。</p>

(7ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(6) 第7次総合計画策定に向け、未来の本市の将来像を伺う。	<p>④本市の都市づくりの方針「多極ネットワーク型コンパクト構造」を実現するために5つの地域を設定した。その5地域のうち幡山地域は、今後予定されている小学校の統合だけでなく、障がい児の特別支援学校、児童発達支援センターや、私立中学・高校、周辺には大学コンソーシアムせと加盟大学と教育に関わる施設が多数存在している。この地域は教育の充実へと力を入れることを明確にし、居住誘導と居住維持を行うことは効果的と考えるが見解を伺う。</p> <p>①都市づくりの理念「鉄道により周辺都市とつながる強みを最大限に生かした都市づくり、子育て世代が便利に安心して暮らせる都市づくり」を掲げているが、6次総は都市づくりに関して、そのような取り組みができていたか市長に伺う。</p> <p>②第7次総合計画策定に向けて、都市づくりに関して評価指標は何を重要とする予定か市長に伺う。</p> <p>③第7次総合計画策定に向け、都市づくりに関してどのようにシティプロモーションと、シビックプライドの醸成を行っていくか市長に伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。